

南伊豆町津波避難計画

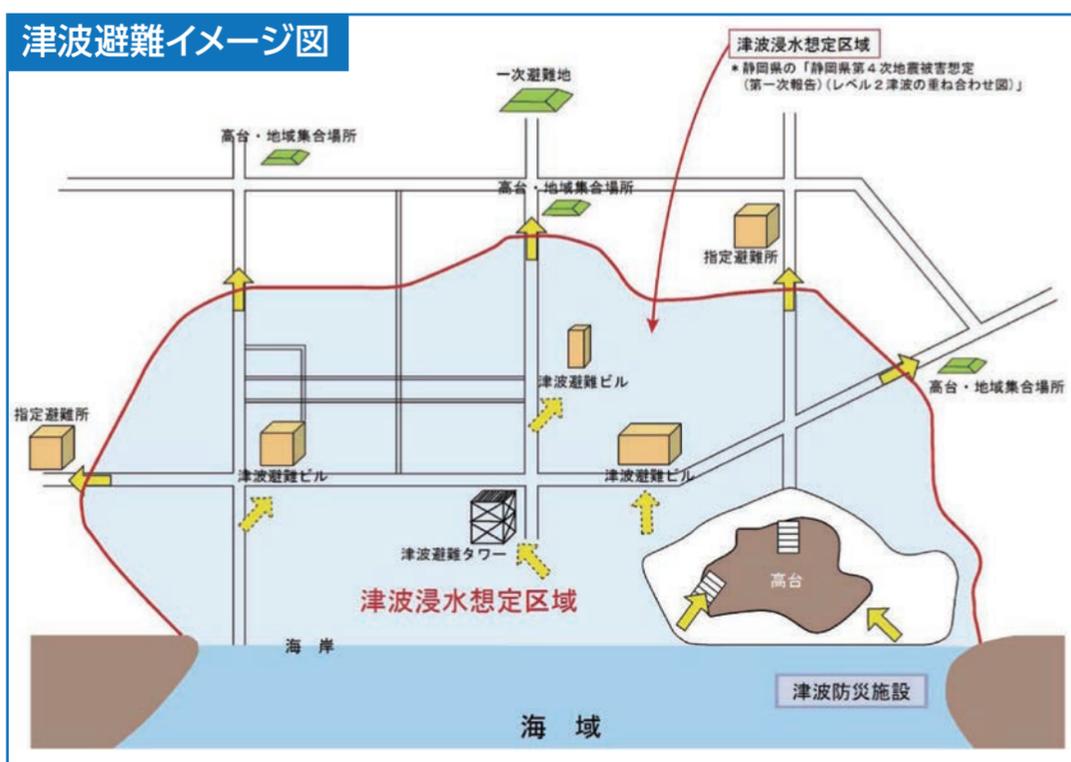
■避難の考え方

- 津波から命を守るためには、迅速かつ的確な避難が必要です。避難の際には以下に沿った避難を実施して下さい。
 - ①津波浸水想定区域外へ避難する(周辺に高台・地域集合場所・一次避難地がある場合には、そこに避難)
 - ②上記の避難が不可能なエリアは、町が既に指定している津波避難ビル(休暇村南伊豆・壺中の天宿○文)や津波避難タワーに避難する
- また南伊豆町では、以下の基準で避難を実施する必要があります。

地震発生後 3分で避難開始

平地や斜面を 1秒で1m進む (水平および斜面移動速度1.0m/s) 等

- なお、上記の基準で津波の到達までに避難先にたどりつくことができないエリアは、さらに急いだ避難を実施しなければなりません。



津波避難心得

- いざという時のために、日ごろから以下を心得ておくことが大切です。

① まず、我が身の安全を真っ先に考えること

・自分がけがをしては、避難もままなりません。

② 素早く避難を開始すること(地震発生から **3分** で避難開始)

・**南伊豆町は最短約6分で津波が到達します。**
揺れが残っていても、できる限り急いで避難しましょう。



③ あらかじめ避難先を把握しておくこと

・災害はいつ起こるかわかりません。避難する場所を普段から確認しておきましょう。

④ 素早い避難をすること(**1秒で1m進む避難** をしましょう)

・津波はととても早いため、のんびり歩いては間に合いません。

⑤ 避難を妨げる問題がどこにあるか把握しておくこと

・円滑な避難のために、予め地域のどこに避難を妨げる問題があるか把握しておくことが重要です。

⑥ 避難を妨げる問題に対して対策を講じ、解消すること

・地震で家具が転倒すると、ケガをするばかりか、迅速な避難ができなくなります。安全に避難するためには、家庭や地域で出来る地震対策(家具の固定・通路の整理・耐震化)が重要となります。

津波・高潮・波浪警報・注意報

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分後を目途に津波警報(大津波、津波)または津波注意報を発表します。

また、高潮・波浪による災害の発生が予想される場合には、高潮・波浪警報または高潮・波浪注意報を発表します。

津波警報・注意報の種類

※大津波警報は特別警報に位置づけられています。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

高潮・波浪警報・注意報の種類

種類	発表の基準
高潮警報	予想される潮位が1.5m以上である場合。
高潮注意報	予想される潮位が1.1m以上1.5m未満である場合。
波浪警報	有義波高6m以上である場合。
波浪注意報	有義波高3m以上6m未満である場合。





海岸地区別の津波避難マップをご覧になる場合は平成28年9月策定の「南伊豆町 津波避難計画」をご確認ください。

南伊豆町 津波避難計画

検索

